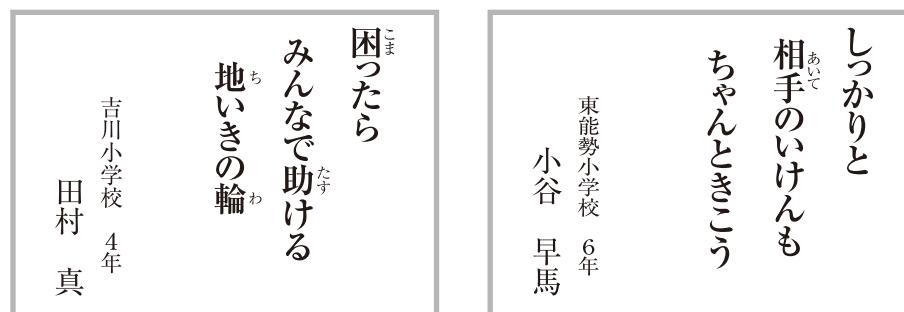


人権に関する作文・絵画(小中学生の部)入選作品

すべての町民の基本的人権が尊重され、差別のない明るく住みよい町の実現に向けて、人権に関する標語、絵画、作文を募集しました。その中から、入選作品を随時紹介します。(学年は令和元年度のものです。)



修学旅行に行つて

東能勢小学校 6年 村上 了響

私は、修学旅行に行く前に、ぜんぜん行く気になりませんでした。でも、行ってみると、行つてよかったですなどと思いました。理由は、平和について知ることができたからです。

長尾ナツミさんの話を聞いて、「何があつても負けない」、「がまんする」、「大きな希望をもつ」「戦争だけは絶対にしない」「人間は一人では生きていけないから、みんなで合って生きていぶく」という言葉が心にのこりました。この五つの言葉は、すごく大切だと思いました。

私は、長尾ナツミさんの話を、しんげんに聞きました。私は人の話を、まともに聞いたことがなかつたのに、なぜか長尾ナツミさんの話だけ、初めてしんげんに聞きました。

長尾ナツミさんは、八十九歳なのに、お元気で、強かったです。もっと長生きしてほしいです。そして、世界中の人に戦争のおそろしさや、平和について知つてもらいたいです。長尾ナツミさんと出会えてよかったですなど私は思います。

公園内の見学では、原爆ドームやオギリなどがのひたのはすばらしく思います。ヒロシマには、修学旅行生や、外国人観光客など、いっぱい人がいました。

ちかいの言葉の中に、「私たちは、戦争で亡くなつた人たちの分、しんげんに生きたいと思います」という言葉がありました。私は、戦争で亡くなつた人たちの分も、しんげんに生きたいと思いました。ヒロシマで学んだことをしつかり頭に残して、しんげんに生きたいです。

じつしたひこひか

光風台小学校 6年 田中 宏樹

ぼくは、バスケットボール選手の原口さんの授業を受けました。

これまで、障害がある人はその分自由がなくなっていると思っていました。でも、原口さんは授業を受けて考えが変わりました。今までのぼくは、障害があるから、難しいだろうな、と思うことがあります。それがこの授業を受けて、できない・難しい、ではなくて、どうやらできるのか、どうすればいいかを考えることが大切なんだなと思いました。

そしてもう一つ、ぼくはバスケットボールの道具にたくさんの工夫があることを知りました。

例えば、目が見えない人のために、サッカーに使うボールの中に「すず」を入れて音が出るようにしていました。そして、考えた人はすごいと思いました。

ぼくは、原口さんの授業を受けて、これからは、難しいことがあっても、どうしたらいいか、などを考えようと思いました。そして、もし、これから困つている障害のある人がいたら、すぐ助けたり、手伝つたりしようとと思いました。



人の動き

R2.4月末日	人口	男	女	世帯数
前月比	-1人	1人	-2人	20世帯
人口前月比の内訳	67人	55人	4人	17人